



日本一海に近い学校？

谷川小学校

今回は牡鹿地区にある谷川小学校を紹介
します。



こつした海に近い環境や保護者の従事している仕事がほとんど漁業という地域性を生かして、1・2年生の生活科では、「磯遊び」をしたり、3・4、5・6年生の総合的な学習の時間では、「山・川・海の自然を観察しよう」「ホタテのみみつきり体験」など、海をテーマにした調べ学習や体験学習をしたりと、海に親しみながら楽しく活動しています。

また、全校児童で海への感謝の気持ちを込めて、海岸清掃を行い、その後自然とふれ合ったため遊泳をしています。

8月には、PTA主催で「親子釣り大会」を行い、親子で楽しく船釣りをしました。PTA活動としても、子どもたちにとって、親子で一緒に釣りをした体験は、親子のふれ合いとして、大変意義のあるものでした。

谷川小学校は、牡鹿半島のほぼ中央に位置し、近くに金華山を望む太平洋に面している鮫浦、大谷川浜、谷川浜、祝浜、泊浜の5つの浜の元気な子どもたちの学校です。現在全校児童26人、児童数の減少に伴い今年度より完全複式学級になり、3学級となりましたが、26人の浜っ子たちは、いつも学年・男女を問わず、みんな元気に校庭でサッカーをしたり、一輪車、竹馬などをしたりしながら遊んでいます。

体育館のすぐ下に磯辺があり、日本一海に近い学校ではないかと思えます。教室からも海が見え、潮風とさざ波が心地よく聞こえます。



昨年10月には、開校百周年を迎え、記念式典が盛大に行われました。地域コミュニティの中心的役割を担っている谷川小学校と地域、家庭との連携をより深めて行くことが期待されています。

サークル仲間

なかま 15

初振りつけの創作ダンベル

「かなん楽らく音頭」のデビュー！

今回は、かなん楽らくニギニギ隊の皆さんを紹介します。



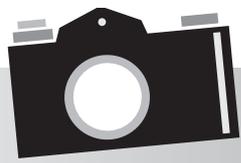
かなん楽らくニギニギ隊の発足は平成16年6月、旧河南町主催の楽らく運動セミナーで玄米ダンベル体操のすばらしさに出会った仲間達で結成しました。

現在は58人で、何故か全員女性ばかりです。主な活動としては、毎月第4火曜日の午前9時30分から11時までの1時間30分、遊楽館アリーナで一般の方も大勢参加してニギニギ隊が中心となり活動しています。

これは300グラムの玄米で作られたやわらかいダンベルを、初振りつけのデビュー曲「かなん楽らく音頭」などの音楽に合わせてながら上下左右に動かし運動するもので、さわやかな汗とステキな笑顔で元気いっぱいです。

この運動を続けて会員の皆さんは、肩こりが良くなった、疲れにくくなったなど、体調がよくなったり、心の疲れもなくなったりしているようです。今後は、玄米ダンベル体操のすばらしさをより多くの方々に広めていきたいと、かなん楽らくニギニギ隊のメンバーははりきっています。





カメラトピックス

牡鹿



● おサルさんに会えたかな？

10月1日(日)、秋の金華山自然探検（牡鹿半島癒しの旅委員会主催）が実施されました。市内外から約50人の親子連れが参加し、野生のサルや太古の姿そのままの原生林などの金華山の自然を満喫しました。

桃生



● 桃生FCファイナルズ 大会初参加で県大会へ

9月30日(土)、市内で開催されたフットサルバーモントカップ石巻地区予選で、初出場の桃生FCファイナルズが上位入賞を果たし、県大会への出場権を獲得しました。

北上



● 自然のつながりは、 人のつながり

9月30日(土)、絶滅危惧種の水生植物の「アサザ」が生息している北上地区大沢川ワンドで、宮城植物の会 佐々木豊氏の説明による水辺観察会が県石巻土木事務所主催で行われ、自然の豊かさを実感しました。

石巻



◀ お魚さん待てー

ニジマスとウナギ
ゲットだぜ▶



● 北上川フェア（7頁まちの話題）での 魚のつかみ取り